

# 社会科作品募集のお知らせ

令和5年7月19日  
作新学院小学部社会科

みなさんにとって楽しい夏休みをむかえました。長い休みの間は、いろいろなことにチャレンジするいい機会です。自由研究のひとつとして、社会科に関するコンクールに取り組んでみてはいかがでしょうか。興味がある人はぜひ挑戦してみてください。

※作品は2学期の始業式までに担任の先生に提出してください。

※詳しい募集要項などは小学部第1校舎1階会議室前、第2校舎1階ロビー付近にあります。数に限りはありますが、必要な方にはお渡ししますのでお知らせください。夏休みの面談時等にお持ちいただいても結構です。

※募集要項や応募用紙などは、各コンクールのホームページからもダウンロードすることができます。小学部のホームページにもリンクを作りますのでご利用ください。

## 《2学期始業式しめきりのコンクール》

### 1. 第12回しもつけ新聞スクラップ作品コンクール（主催：下野新聞） <https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/440658>

- テーマは自由。下野新聞をはじめ栃木県内で取り扱っている日刊新聞で、2022年10月から2023年9月までの記事を使って作品を作る。個人または3人までのグループで制作。
- 切り抜いた新聞記事を模造紙サイズ（1～3年生はこの半分のサイズでも可）の紙にレイアウトし、①独自の見出し、②作品づくりのきっかけ・動機、③制作を通して分かったこと・まとめを書いて仕上げる。
- 記事ごとに切りぬいた新聞名と発行年月日を明記する。写真や市販の地図などを多用せず、自分自身の手で工夫をして作る。模造紙の裏にラシャ紙を貼ったり、端にテープを貼るなどして作品を補強する。立体作品、模造紙からはみ出る作品は不可。
- 裏面右下に氏名（ふりがな）、性別、学校・学年、住所・電話番号、作品タイトルを明記した所定の応募用紙を貼り付ける。

### 2. 第31回「ジュニア知事さん」作文募集（主催：栃木県）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/pref/kouhou/iken/jrchiji.html>

○4～6年生。自分が大人になったとき、ふるさと“とちぎ”はどんな県になってほしいと思うか。自分が思い描く社会を実現していくために、自らやりたいこと考えることやできること、また大切だと思うことを400字詰め原稿用紙1枚以内にまとめる。

※専用の応募用紙があります。市販の原稿用紙でもかまいません。

○題名は作品の内容がイメージできるものをつける。

○応募用紙のわくに、①学校名、②学年、③氏名（ふりがな）を明記。

### 3. 第20回「新聞を読んで」感想文コンクール（主催：下野新聞）

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/440662>

○2022年10月～2023年9月までの期間に読んだ新聞記事を対象とし、自分の考えや思いをまとめる。

1～3年生は、家族の方に新聞記事を読んでもらうことも可。

○400字詰め原稿用紙で、①1～3年生は640字以上800字以内、②4～6年生は800字以上1000字以内でまとめる。1行目に題名、2行目に学校名・学年、3行目に氏名（ふりがな）、4行目に記事の掲載日と新聞名を記入し、5行目から本文を書く。B以上の濃さの鉛筆を使い、なるべく大きな字で書く。

○読んだ新聞記事を切りぬいて原稿用紙に添付する。コピーは不可。

### 4. 第9回「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト（主催：セディア財団）

[https://www.sedia-found.org/contest\\_newspaper/](https://www.sedia-found.org/contest_newspaper/)

○わたしたちのくらしに欠かすことのできない大切な水について調べたり、学習したことなどをまとめたかべ新聞を作る。グループでの制作も可。

○作品テーマ例

・家族でチャレンジ！節水とエコ

・防災と水

・水の歴史を調べてみよう

・井戸って何？むかしの水とくらし

・つたえよう！水の大切さ

・水の不思議を探してみよう

・学校や家で使う水はどこからくるのかな

・水と環境のつながりを調べてみよう

・水を通して考える自然のめぐみと災害

・SDGsと私たちのくらしと水 など

○作品は新聞形式のもので、模造紙・学習新聞用紙・はがき新聞など大きさは自由。

○手書き・パソコン作成のどちらでも可。

○作品の裏面に応募票を貼り付ける。

※学校でとりまとめて応募しますので、応募票には①題名、②学校名、③氏名、④学年、⑤保護者等の支援について、をご記入ください。

## 5. 令和5年度統計グラフ栃木県コンクール（主催：栃木県）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/c04/pref/toukei/toukei/gurakon.html>

- 課題は自由。小学校4年生以下の児童の応募については、児童が自ら観察または調査した結果をグラフにしたものとする。1つの作品につき、5人以内の合作も可。
- 用紙はB2判（仕上げ寸法72.8cm×51.5cm）とし、縦・横どちらでも可。
- 紙質・色彩は自由。裏面の板張り（パネル仕上げ）、表面のセロハンカバーなどは不可。
- 第三者が作成したイラストや写真などは使用しない。
- 観察・評価の記録、作品に利用した統計表を作品裏面下部に貼り付ける。
- 詳細は作品募集要領（ホームページ）をご覧ください。

## 6. 第13回「税に関する絵はがきコンクール」（主催：宇都宮法人会）

<https://www.zenkokuhojinkai.or.jp/joseibukai/contest.html>

- 税金は毎日の生活の中でどのように役立っているでしょう。税の大切さや税の果たす役割について、調べたことや感じたことを絵はがきに表してみましょ。
- テーマ…税に関する絵（例えば、税金で造られている建物・施設、税金で購入される物品、税金で行われている仕事など）。画材は自由。文字や標語の書き入れも可。
- 募集は6年生のみです。応募用紙は終業式にお配りします。
- お配りした専用はがき、または官製はがきに必要事項を記入してください。学校に提出していただいたものは小学部からまとめて応募します。

## 7. 令和5年度もったいない4コマまんがコンクール（主催：宇都宮市もったいない運動市民会議）

<https://www.u-mottainai.com/とりくみ/4コマまんが/>

- 「もったいない」をテーマにした縦4コマのまんが。応募は1人3点まで。
- 応募用紙（コピー可）またはA4サイズの紙に必要事項を記入。  
コマのサイズは、縦4.5cm、横6.5cm、コマの間0.5cm。色・筆記具は自由。（できるだけ濃く描く）
- 入賞作品は、宇都宮市の「もったいない運動」推進のために活用されます。

※このコンクールは締切が8月31日必着になっていますが、9月1日に取りまとめて発送します。始業式に必ず提出してください。